

ほうまん川じょう化センターのお話を  
聞いて

益永 芭子

小郡市立のぞみが丘小学校

わたしは、ほうまん川じょう化センターの方のお話を聞く前までは、水のことについてあまり考えていませんでした。今回、お話を聞いて今まで知らなかった事や水がどのくらい大切なのかということが分かりました。

なぜなら地球の水を100パーセントとすると、飲める水は2.53パーセントしかなく、すぐに飲める水は、たった0.01パーセントで全体で見るとほんの少しの水しかないと聞いてとてもおどろきました。そして大切にすることが大事だと思いました。

ほうまん川じょう化センターの方のお話の中で、「使った水がわたしたちのまわりをまわって、またわたしたちの家にとどく。」と言われていました。

よごれた水を、そのまま流してしまうと、川も海もよごれてしまつて魚もいなくなつてしまつたりするので、よごれてきたない水を直せつ流さないようにして、きれいな川や海をぜつ対によごしては、いけないなと思いました。

下水しよりでは、ちんさ池という場所で大きなごみを取りのぞいて、ほんのうタンクにいる小さなかつせい君が、小さなよごれを食べべてくれて、その後に、消どくせつびで消どくをすればぜんにもどる

ことが分かりました。小さなかつせい君も毎日、数を数えてかつせい君が少なくなつていないかけんさしている事も初めて知りました。

じょう化センターの方たちが、そんな大事なお仕事を、してくださっていることも初めて知りました。

使った油を流しに流してしまうと、はい水口がつかまつてしまうし、油とまじつた水を、きれいにするのにたくさんきれいな水が必要になるので家では、油を流さずにキッチンペーパーなどですつて、もえるゴミにすてるようにします。

川や海をよごさないようにするためにみんなが油を直せつ流したりしないよう一人一人がルールを守ることが大切だと思いました。

じょう化センターの方のお話を聞くまでは、自分も水を出したままにしてしまう事もありました。水の大切さにあまり気づいていなかったけれど、これからはおふろのときや歯みがきのときに水を出したままにしないようにして、水を大切にしたいと思います。